

リフレッシュ研修を開催しました

管理課 庶務係長 秋 元 舞

福島病院に入職して4カ月が経ち、不安や緊張でいっぱいの様子だった新規採用者も少しずつ仕事に慣れてきた頃、令和7年7月29日にリフレッシュ研修を開催しました。職場を離れた環境で時間を共有し心身ともにリフレッシュすることで不安感や緊張感を軽減してもらうことを目的に、今年度は病院から少し遠出をして「かおるブルーベリー園」でのブルーベリー摘みと「デコ屋敷大黒屋」での絵付け体験を計画しました。

当日は天候にも恵まれ、快晴の空の下、初めてのブルーベリー摘みを楽しみました。広大な敷地の中、甘酸っぱいブルーベリーを食べつつ、楽しそうに親交を深めている様子が印象的でした。お昼は三春町にある豆腐専門店でランチを食べ、午後は豆だるまの絵付け体験を行いました。全員が集中して取り組み、各々の個性が光る、素敵な豆だるまが完成しました。絵付け体験終了後は、お店の方が畑で採れたスイカと冷たいお茶を出してくださ

り、夏の思い出を作ることができました。また、絵付け体験の中で、研修生から、絵付けは作り直しができるが、 患者さんの命を預かる自分たちの仕事はやり直しができ ないという話がありました。今回の研修を通して、看護 観を深めたり仕事に対する意識向上に少しでも繋げても らえたら嬉しいです。

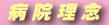
看護師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師、事務職員の8名が集まるのは4月の新規採用者研修以来であり、研修後のアンケートでは、「同期と久しぶりに会い話ができて楽しかった。改めて同期の大切さを感じた」「同期との交流を通して、リフレッシュできただけでなく、様々な情報交換もでき、今後の業務に活かせると思う」などの感想がありました。職種の垣根を越えた交流を通してお互いの親睦を深め、これからも同期達との絆を大切にしてもらえればと思います。



本号のご案内

- ●リフレッシュ研修を開催しました ………………]
- ●療育だより 夏だ!! 祭りだ!! マツケンだ!! ……… 3
- ●看護師特定行為のご紹介 …………2
- ●外来担当医表 ………………………………………4

納得の医療で他域や社会に貢献



看護部だより

看護師特定行為のご紹介

看護部 教育担当師長 石 栗 広 志



「看護師特定行為」は、2015年に国内で定められた 法律により、専門的な研修を受けた看護師が、医師があ らかじめ決めた手順に基づいて、「これまで医師しかで きなかった医療行為の一部を行えるようにする」制度で す。これにより、研修を受けた看護師は医師や他の職種 と連携し、迅速で質の高い医療を提供できます。この特 定行為は 38 種類もあります。

福島病院では、おもに「気管カニューレの交換」、「胃ろうや腸ろうなど、体の中と外をつなぐ「瘻孔(ろうこう)」という管の交換」、「傷口の回復を早めるための皮膚の壊死した部分の除去」の3つの処置で、研修を終了した看護師が活躍しています。

●大川原 董

特定行為区分:呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連・ろう孔管理関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

福島病院は地域のセイフティーネットの役割を担っており、当院で療養する患者様方を医療と生活の両面から支援しています。しかし、医師の数は充分とは言えず、タイムリーな医行為の提供が難しい場合もあります。そこで、24時間患者のそばに寄り添う看護師が医行為を実践できれば、支援学校への登校や療育活動への参加などを妨げずに患者の生活軸を大切に出来るケアの提供ができるのではないかと思い、看護師特定行為の道に進みました。日々患者様や指導医から学ばせていただきながらの特定行為実践ですが、少しでも患者様へ安心・安全なケアの提供ができるよう、実践を積み重ねていきたいと思います。

●武田 哲

特定行為区分:呼吸器(長期呼吸療法に係るもの 関連)・ろう孔管理関連

医師業務のタスクシフトタスクシェアが推進されている中で特定看護師が最適なタイミングで処置ができれば患者・医療者双方にとって大きなメリットがあると考え受講しました。現在は1病棟で医師の協力のもと特定行為(気管カニューレ交換・バンパー型胃瘻交換)を実施しています。特定行為看護師の活動は始まったばかりの為、これから特定行為看護師を希望される方の為にも土台作りしっかり行い、患者に寄り添いながら多職種連携して幅広くベッドサイドのケアに質を追求し、患者の安心・安全な医療を提供できるよう努めていきたいと思います。

●安保淳子

特定行為区分:呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連・ろう孔管理関連

今年の3月に研修を修了し、主に所属病棟で特定行為を実施させていただいています。いつもそばにいる看護師のひとりとして、医療と療養生活両面から患者さまを支えられるように、スタッフの皆様と協力しながら丁寧に実践していきたいと思います。

●三本木 裕 二

特定行為区分: 創傷管理関連

2018年度に創傷管理関連の研修を修了しました。患者さんの苦痛が最小限となるような個別性のあるケアを目指していきたいと思います。またスタッフ間での創傷ケアに関する情報共有を行い、早期改善と予防対策に取り組んで行きたいと思います。

源肯だより 夏だ!! 祭りだ!! マツケンだ!!

療育指導室 保育士 髙 橋 奈 々

遠く澄んだ空に、朝夕の心地よい風。秋の訪れを感じ る季節となりました。

さて、7月に重症心身障がい児者病棟において、療育 棟・病棟での二本立の夏祭りを盛大に行いました。療育 棟での夏祭りは、各病棟で作った提灯を飾り、出店では 射的・魚釣り・お面・プラバンを使ったキーホルダーづ くりなどを行いました。あまり経験できないゲーム等も あり大変盛り上がりました。病棟での夏祭りでは、各病 棟の保育士が集結し、お神輿を担いで練り歩いたり、ダ ンスやクイズなどを行いました。ダンスではマツケンに 扮した保育士と、もりあげ隊に扮した保育士が、患者様 と一緒にダンスをしながら楽しく過ごしました。また栄 養管理室の協力のもと実際に綿あめ機を使って作る「綿 あめパフォーマンス」を行いました。音やにおいなどを 楽しみ、最後には患者様全員「綿あめ」をいただきまし た。甘いおいしい綿あめを口に含むと、満面の笑みにな る患者様がたくさんおられました。今回経管栄養の患者 様にも提供することができました。実際綿あめを口に含 むと、舌を上手に動かしていらっしゃる姿も見られまし

た。コロナで活動や行事に制限 がかかる中、久しぶりの病棟を 挙げての夏祭りに患者様の笑顔 がみられ私共もうれしくなりま した。今後も患者様が楽しめる 活動や行事を考え行っていきた いと思います。













●外来担当医表●

外来担当医は都合により変更となる場合がありますので、ご了承ください。

【令和7年10月1日現在】

×	分				月				火				水				木				金			
内		科		1	安	⊞	千	尋	安	⊞	千	尋	安	⊞	千	尋								
内		科		2	佐 (藤 第1	由 紀 ・ 3])																
内	視	鏡	検	查													安	⊞	千	尋				
脳	神	経	内	科	伊	藤	英	_	杉	浦	嘉	泰	伊	藤	英	_					杉	浦	嘉	泰
小		児		科	福氏	島家	医二	大郎	石	井		勉	石	井		勉					河	原	⊞	勉
専 (発	門 達小り	見ク!.	外 ノニッ	来 ク)	氏	家	=	郎	石	井		勉									河	原	⊞	勉
専 (小	門、児		外 ≧ 外 ∌	来 来)									石	井衤	希代	子								
専 (小	門児		外 器 外 :	来 来)									桃	井 (第		緒								
小	児・	専 『	9 外	来	予	防 (午	接 後)	種																
整	形		外	科	古	Ш	浩三	郎					古月	II	浩三	郎					古	Ш	浩三	郎
小	児	,	外	科													清	水	裕	史				
脳	神	経	外	科					福	島 (第		大												

●完全予約制となります。予めご予約をお願いいたします。

- ●受付時間は午前8:30~11:00までです。急患については 随時受付いたします。外来担当医は、都合により変更となる場 合がありますので、ご了承下さい。
- ●外来担当医表は令和7年10月1日時点のものです。その後担当 医が変更になっている場合もありますので、当院ホームページ、 院内掲示等をご確認下さい。

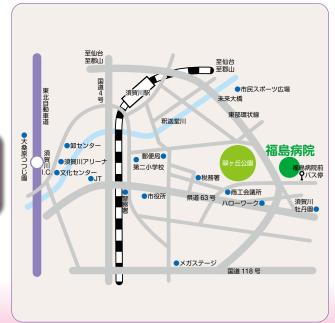
●専用ダイヤルをご利用ください●

診療のお問い合わせ・ご相談 (月~金 9:00 ~ 17:00) 診療の予約・変更等 (月~金 15:00 ~ 17:00)

専用ダイヤル 0248-75-2259

●編集後記●

8月の終わり、空いっぱいに咲いた釈迦堂川の花火。今年はじめて見に行きましたが、夜空を焦がす大輪の光に、たくさんの感動をもらいました。9月になり、少しずつ涼しい風が吹くようになり、街路樹の葉も色づき始めました。夏の思い出を胸に、この街で迎えるはじめての秋、どんな景色に出会えるだろうと、今からとても楽しみです。 (編集委員 O・N)





National Hospital Organization Fukushima National Hospital

独立行政法人国立病院機構福島病院

〒962-8507 福島県須賀川市芦田塚13番地 ☎0248-75-2131 (代表)